



2001.11.1
平成13年

さくら市議会だより

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 ☎484-6177

9月定例会

平成12年度決算をすべて認定 テロの根絶と真の世界平和の実現を 全会一致で決議



定例会最終日の9月27日、開会后日程に先立ち、出席議員、市幹部全員で米国の同時多発テロの犠牲者に1分間の黙とうを捧げ、哀悼の意を表しました。

9月定例会は、9月3日から27日までの25日間にわたり開かれました。今定例会では、「佐倉市一般会計歳入歳出決算認定について」など議案30件、諮問1件が提出され、すべて原案のとおり認定・可決しました。請願・陳情については、継続審査中の「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書提出に関する陳情」1件、議員発議については、「テロを根絶し、日本が世界平和実現のための取り組みを積極的に進める決議」など3件を提出し審議しました。一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に9人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



下志津学童保育所を視察



12年度決算

決算審査特別委員会で
慎重に審査

平成12年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の決算審査にあたり、決算審査特別委員会を設置しました。選出した委員は次のとおりです。

- 中村克凡 倉田彰夫
- 押尾豊幸 檀谷正彦
- 中原英雄 栗生三三男
- 木原義春 神田徳光
- 清宮誠 森野正
- 勝田治子 宮部恵子
- は委員長、 寺田一彦
- は副委員長

決算審査特別委員会は、3日間にわたり開催されました。12年度に整備された下志津小学校内学童保育所、西志津小学校増築・プール改修等の現地視察も行い、一般会計、特別会計など11議案についての審査を行いました。定例会の最終日には、中村克凡委員長による審査報告があり、「長引く経済の低迷を反映し、財政状況が深刻になりつつある反面、今後も大きな行政需要が見込まれている。今後の財政状況を十分に勘案し、より慎重な対応を望むものである」と要望しました。



決算審査特別委員会の審査

平成12年度決算の概要

会計名 マル数字は議案番号	歳入決算額(円)	歳出決算額(円)	差引残額(円)	
一般会計	41,326,915,404	39,248,752,138	2,078,163,266	
特別会計	国民健康保険	8,633,177,841	8,330,899,027	302,278,814
	国民宿舎事業	10,247,043	10,155,622	91,421
	交通災害共済事業	13,884,096	12,918,557	965,539
	公共用地取得事業	42,988,950	42,988,950	0
	国鉄佐倉駅前土地区画整理事業	74,618,931	51,530,312	23,088,619
	下水道事業	2,844,047,356	2,774,647,799	69,399,557
	老人保健	8,720,528,639	8,690,528,639	30,000,000
	農業集落排水事業	17,207,536	17,128,228	79,308
	介護保険	3,334,018,703	3,244,677,354	89,341,349

会計名 マル数字は議案番号	事業収益(円)	事業費用(円)	差引残額(円)
水道事業	3,397,247,161	3,479,963,147	82,715,986

市政に関する一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたる質問をすることをいいます。9月定例会では、10日から13日の4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。詳細については、市役所内市政資料室・市内各図書館で会議録（12月上旬発行予定）をご覧ください。

一般質問《代表質問》質問事項

議員名	質問事項	印本文に内容を掲載 印本文掲載以外の質問項目
(さくら会) 清宮 誠	印福への取り組みなど 介護保険の現況や高齢者・障害者福祉について 志津霊園問題について	
(公明クラブ) 長谷川 稔	参議院議員選挙を終えて 市道I-32号線道路整備事業 住吉神社の周辺対策	
(市民ネットワーク) 宮部 恵子	行政改革推進懇話会を始め、市長の諮問機関等の役割や会議の進め方について 「行政サービスの向上」で必要なホームページの活用及び総合窓口の設置について 「開かれた行政の推進」で「自治基本条例」の制定を検討すべきではないか	
(市政会) 白井 尚夫	市長のリーダーシップについて 財政健全化の推進について 職員能力開発、定数及び給与の適正化について	
(創生) 中原 英雄	岩名運動公園の拡充整備を求め、市長の政治姿勢・総理の靖国神社や参拝、教科書問題など歴史認識や感想を問う 志津霊園問題 - 任意交渉はどうか 推移しているのか	
(新社会党) 富塚 忠雄	国立佐倉病院について コミュニティ循環バスについて 志津霊園問題について	

公明クラブ

長谷川 稔 議員

問 小泉首相は8月15日の参拝を断念し、13日に前倒しをして靖国神社に参拝した。公明党は、憲法違反の疑いや外交上の問題を指摘してきたが、8月15日になると繰り返し返される問題である。政府は戦没者を慰霊する国立墓地構想などを検討するため、官房長官の私的懇談会を立ち上げる方向を明らかにした。戦争と平和に対する日本人一人ひとりの考え方が問われているが市長の所感を。 **答** 国立の慰霊施設を整備することが一番良い方法と考える。佐倉市は平和条約を制定し、平和を祈る黙とうを行ったり、中学生による平和

終戦記念日について

使節団など平和宣言に基づく施策を行っており、この日を国内外で亡くなられた人々を追悼し、平和を祈る日としていきたい。

佐倉・国際印福沼花火大会について

問 昨年と今年の実行体制の違い、雑踏警備の対応はどうであったか。また、夜の花火だけでなく昼に時代まつりを行うなど、昼と夜を抱き合わせた事業はできないか。 **答** これまでは観光協会や地域団体を中心とした実行委員会に委託していたが、今年はその主催部分も残しながら、観光協会への委託事業とした。約100名の警察官をうすい駅、交通渋滞予想箇所、主要交差点等に配備し、ガードマン240名のほか、市職員も警備に当たった。当日の準備作業を考えると昼間のイベントとあわせての実施は難しい。

平和を祈念して「平和の鐘」を打つ - 8月15日



「キネマの夕べ事業の縮小合理化」について **問** 年11回の上映から5、6回に縮小する理由をCATVの映画放送の充実、市内の映画館の増加、対象市民の固定化としている。しかし、CATV加入者は限られ、大勢のリピーターは大いに結構なことで、音楽ホールだけでなく、他の地域でも上映してほしいという声もある。市民のニーズを削るのではなく、運営方法を検討すべきではないか。 **答** キネマの夕べは邦画を通して日本の文化を再認識することを目的に昭和63年度から始まり、これまで140本の名作を上映、ある程度目的は達成されたと思う。市民主催の自主映画会が市内各地で上映されており、今後は、市民組織による映像文化事業との連携を深めていきたい。

「児童保育所時間外保育の有料化と子育て支援の整合性について」 **問** 「佐倉市エンゼルプラン」では、子育てと仕事の両立支援として、保育サービスの拡充や放課後の児童保育の拡充を図るといふ。安心して生み育てられる環境づくりが求められているが、「有料化」は市の今後の方向性とは逆行し矛盾している。児童保育の基本原理並びに子育て支援との整合性は。 **答** 保育園、児童保育の運営費に市の支出が増加する傾向にあり、民間の児童保育利用者、時間外保育を利用していない保護者との不公平感の解消、受益者負担の考えから有料化を考



子育てしやすい環境づくりを

「入札制度の改革について」 **問** 市では、6月より受注希望型指名競争入札が試行されている。市民ネットワーク 服部かをる議員 **答** 入札制度の改革については、現在試行中の入札制度を検証する中で雇用対策、中小企業対策、関係する地場産業の健全な発達及び工事の技術的な難易度などを踏まえ、より総合的な見地から更に研究をして参りたい。

「街灯及び防犯灯設置の推進について」 **問** 市が設置する街灯に関して、自主的な設置計画はどのようになっているのか。市設置のもの自治会負担のものも含め、具体的にわかりやすい街灯設置推進計画を立て、住民とともに明るいまちづくりを目指すべきと考えがいかか。 **答** 駅及び公共施設周辺50

さくら会

清宮 誠 議員

問 現在佐倉市は、寺崎土地区画整理事業、岩名運動公園の拡張計画、国立佐倉病院や志津霊園問題など懸案事項がたぐささんある。これらを実行するための財政運営は、14年度の概算要求など予算の規模、また、12年度決算の状況は。 **答** 大きなプロジェクトを進めて行くための財政運営は非常に難しく、計画的に段階的に複数年度にまたがって事業を実現していくような計画が必要。14年度予算については、国の財政改革の中で交付税の見直しがあり、これが見込めない場合、財政規模を380億円程度に縮小することもやむを得ない。12年度決算については、経常収支比率は84.8%で横ばい、公債負担比率は12.5%で健全性は比較的保持されている。

財政の課題について

まちづくりについて

問 寺崎の区画整理地区は佐倉の中心に位置し、東西南北の道路が完成すればその接点になるが、佐倉のまちづくりとしてどう位置づけるのか。3ヘクタールの行政文化施設用地の活用計画は何か。平成20年までの債務負担行が31億円、都市下水路整備費11億円もあり、行政文化施設の建設費はどの程度考えているのか。 **答** JR佐倉駅周辺と一体的な新たな市街地の整備を進め、佐倉市の顔としてつくりあげていきたい。行政文化施設用地の利用として考えられるのは文化会館等の複合施設であるが、緊迫した財政面での問題があり、両者のバランスをいかにとるか今後の課題である。



開発が進む寺崎特定土地区画整理事業地

個人質問

200億円以上の新庁舎建設計画をどうするか
藤崎良次議員

問 佐倉市は新庁舎建設計画を「佐倉市庁舎建設」の提言（平成10年11月付）に基づき進めており、総額200億円以上かかることは、広く市民に知られてきた。場所については、今議会の答弁では平成15年より前に選定して行くとのこと。床面積32000㎡、敷地は36000㎡で計画されており、佐倉市の財政状況では無理であると思います。新庁舎建設の提言に基づいて進めるこの計画を見直しする気はあるか？ **答** この提言を尊重する中で、庁舎基本調査会で検討し、財政事情等を見極めて、建設準備を進めていく予定である。

塩ビのおもちゃ及び環境ホルモンの対策について
市民ネットワーク 中村春子議員

問 塩化ビニルのおもちゃについては、フタル酸エステル類、環境ホルモンの物質、カドミウム等の重金属類等添加剤を含んでいる。国は、歯固め・おしゃぶりに対してだけ二物質のみ禁止する案を出した。市は幼稚園・保育園等における塩ビおもちゃの使用禁止と安全なおもちゃを買ったために予算化すべきである。また、環境ホルモン等の使用削減の方向性を出すべきと考えがどうか。 **答** 当市では、玩具の購入に当たり、予算面も含め、材質を確認し子供たちと自然にやさしい玩具の購入に努めている。今後国・県等より情報収集に努め、指導して参りたい。

スポーツ分野の非営利活動団体に対する支援について
さくら会 櫻井 豊議員

問 佐倉市に本拠を置く「リクルートランニングクラブ」が休部にすることに伴い、特定非営利活動団体として「ニッポンランナーズ佐倉」が創設された。市としてこの市民活動との関わり方や支援策をどのように考えているのか。 **答** 佐倉市は、まちづくり方針の一つである、生涯スポーツの充実の施策として、総合型地域スポーツクラブ等地域密着型のクラブチームの育成を掲げている。「ニッポンランナーズ佐倉」の創設を受け、同クラブが佐倉市民のスポーツ振興に沿うものであれば、支援をしていきたい。

入札制度の改革について
市民ネットワーク 服部かをる議員

問 市では、6月より受注希望型指名競争入札が試行されている。

入札制度の改革について
市民ネットワーク 服部かをる議員

問 市では、6月より受注希望型指名競争入札が試行されている。

新社会党

富塚 忠雄 議員

問 コミュニティ循環バスについて、市内の福祉施設等について、利便性が悪く交通手段を持たない市民からの苦情が多い。コミュニティ循環バスについてどう検討しているか。

答 厚生労働省の紹介で、進出を希望している医療機関の関係者と協議を行っている。市としては高度な医療水準と口腔外科、透析等の診療科目があることを要望している。

問 平成14年実施の規制緩和を転換点と考え、既存バス路線がどうなるか見極めて導入する必要がある。循環バスの運行形態としては、交通不便地域循環型と公共施設循環型、その両面を考慮した中で検討してきた。佐倉市は地域も広く公共施設も分散しており、市全体をカバーするものとした場合、複数の路線化が必要で、バス路線との重複が避けられないという問題もある。地域を地区別に区分するなどが肝要であると考え、路線の必要性、優先性等を研究して具体化したていきたい。



八街市の市内循環ふれあいバスは4路線運行

市政会

白井 尚夫 議員

問 国の省庁再編成、特殊法人対策のように、佐倉市でも効率と市民サービスの接点を探りながら、出先機関も含めすべての組織機構を見直すことが必要である。経営の形、さらなるコスト削減の方策など業務委託民営化も含め積極的な取り組みを進めればと考えるがいかがか。



市民サービスの低下を招くことなく行政改革が求められる

答 外郭団体等は設置してから長期間たっているものがあり再検討が必要。社会情勢の変化の中で、現状に対応が難しくなっているものもある。当初の設置目的や経営状況等も勘案しながら合理化について研究を進める予定である。

連絡長協議会に対する補助金について

問 連絡長協議会に対する補助金について監査結果が公表された。市長は監査委員の報告により、補助金の返還を命ずる方針が、また市の指導がずさんであり、市の責任に帰す点が多いと思われるが見解は。

答 この補助金は、連絡長さんに市との連絡調整や地域の諸問題の解決等に協力していただくための運営費の補助であり、活用して地域社会づくりに役立てていただきたいと考えている。補助金の返還については、監査委員の報告を尊重したい。会計処理については、さらに万全を期して説明を必要があると考えている。地域住民と市との貴重なパイプ役として、今後も地域との円滑な連携がとれる制度になるよう研究していく。

創生

中原 英雄 議員

問 岩名運動公園の拡充整備を求め、岩名運動公園の拡充整備を早急に着手するよう提案する。佐倉市は、世界を目指すことのできる恵まれたまちであり、これらの選手が市民と活動の場を共有できる素晴らしい環境をつくって、スポーツのまちとすることも可能である。平成16年の市制施行50周年記念事業として位置づけてはどうか。



スポーツのまちとして岩名運動公園の拡充整備を

答 第3次総合整備計画の中で既に位置づけており、その用地確保を平成15年度に計画、22年に千葉県で開催される国体を目標に進めていきたい。市制50周年までに完成させることは難しいが、スタートのきっかけとすることはできる。

監査委員の在り方

問 監査委員の報告は法的強制力があるのか。監査委員は報告の結果を見届けて納得する必要があるのか。監査委員は報告文を出すことでその使命は終わるのではないか。

答 報告は法的な強制力を持つものではない。報告は尊重されなければならないが、相手方は拘束されることなく、自らの判断により必要な措置を講ずるとされている。その必要はないが、相手方が何らかの措置を講じない場合には、監査委員として最善の措置を求め、監査委員の立場を明らかにしておくべきと考える。報告を受けた相手方が講じた措置の公表をもって役割が終わると考えている。



訂正 さくら市議会だよりNo.21(8月1日発行)の一般質問中、戸村庄議員の質問に対する答弁に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。誤「様式に従い」 正「良識に従い」

一般質問《個人質問》質問事項

Table with 2 columns: 議員名 (Member Name) and 質問事項 (Question Item). It lists various questions from members like 藤崎良次, 櫻井豊, 服部かをる, etc., regarding topics like medical review committees, budget plans, and administrative reforms.

問 政府は、新年度予算について補助金や地方交付税の地方歳出を見直し、思い切った縮減と重点的配分を行うことで閣議了解したが、佐倉市の新年度予算の具体的な構想を問う。大蛇市営住宅の建設計画を問う。印旛沼の環境汚染への対応について問う。

答 新年度一般会計予算は、交付税が見込まない場合は今年度予算から20億円縮小し、約380億円規模で編成し、福祉・環境・教育に重点配分する。市営住宅の建設については、当面の目標として宮小路・田町・根郷住宅建替分の10戸程度、その内第1期分60戸

問 介護保険制度は、給付と負担の明確化が制度の根幹をなすものであり、40歳以上の国民の互助制度である。県内でも一部の市町村において保険料を独自に減免する動きがあるが、これは厚生労働省が示す原則を踏み越えることにもなる。減免措置については、国の制度として全国一律に進める必要があり、国に対しても統一した取り扱い、必要な財源確保については要望してきている。

問 10月より65歳以上(第一号被保険者)の介護保険料全額徴収が始まるが、低所得者の負担が重なる。国に対して介護保険料の改善を求めながら、市としても低所得者対策として独自の減免策を実施すべきであるがどうか。

問 東京都新宿区で発生した雑居ビル火災で多数の犠牲者が出た原因として、ビル構造上の問題とともに、防火上の管理の不備、ずさんさが指摘されている。佐倉市においても今回のビル火災を教訓に、立入検査や防火訓練の両面から総合的な安全体制をチェックし確立すべきであると考えがどうか。

問 雑居ビル火災に関連し、消防庁より小規模雑居ビルに対する一斉立入検査について消防組合に通知があった。これを受け市内該当施設に対し特別査察を実施し、不備・欠陥事項の改善指導を行った。また、検査対象範囲を拡大し、二階以上で避難器具等の設置が必要となる遊技場、飲食店等市内61カ所への立入検査を実施する。

問 ノーマライゼーションの理念は広まってきたが、障害をもつ方々は様々な局面で個別の問題を抱えており、問題への対処方法などの情報を必要としている。出産・就学、卒業後・就労後の相談など身近な問題を相談できるような「地域生活支援センター」の設置を求めているが、その実現は。センター設置については、15年度から障害者施策が支援費制度へと移行するが、対応として民間施設での相談場所設置が望まれている。本年度、県が知的障害者への相談支援事業を市内の施設に委託する予定である。市としては、市町村障害者生活支援事業の来年度からの実施に向け市内身体障害者施設及び県と協議している。

問 80戸について建設計画の前倒しを検討。印旛沼の水質浄化の取り組みとして、高度処理合併浄化槽の普及促進を図る。また、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換費用の助成制度を創設した。

9月定例会の議案と議決結果

市長提出議案	丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号	は全員賛成、 は賛成多数	本会議の議決結果
①	平成12年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定について		認定
②	平成12年度佐倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定
③	平成12年度佐倉市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
④	平成12年度佐倉市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑤	平成12年度佐倉市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑥	平成12年度佐倉市国鉄佐倉駅前土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑦	平成12年度佐倉市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑧	平成12年度佐倉市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑨	平成12年度佐倉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑩	平成12年度佐倉市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定
⑪	平成12年度佐倉市水道事業会計決算認定について		認定
⑫	平成12年度印旛伝染病院組合一般会計歳入歳出決算認定について		認定
⑬	平成13年度佐倉市一般会計補正予算		原案可決
⑭	平成13年度佐倉市国民宿舎事業特別会計補正予算		原案可決
⑮	平成13年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算		原案可決
⑯	平成13年度佐倉市介護保険特別会計補正予算		原案可決
⑰	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑱	佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑲	佐倉市青年館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑳	佐倉市環境保全条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
㉑	佐倉市土地の埋立て及び土質等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
㉒	佐倉市道路線の認定について		原案可決
㉓	佐倉市道路線の変更について		原案可決
㉔	佐倉市道路線の認定について		原案可決
㉕	佐倉市道路線の変更について		原案可決
㉖	佐倉市立白井小学校第一棟改築建築主体工事請負契約について		原案可決
㉗	鹿島川第二号幹線排水整備工事委託契約について		原案可決
㉘	教育委員会委員の任命について		同意
㉙	市民音楽ホール大規模改修建築工事請負契約について		原案可決
㉚	市民音楽ホール大規模改修機械設備工事請負契約の変更について		原案可決
㉛	人権擁護委員候補者の推薦について		同意
議員発議		丸数字は発議案番号	
①	テロを根絶し、日本が世界平和実現のための取り組みを積極的に進める決議		原案可決
③	京都議定書の早期批准・発効と抜本的な地球温暖化防止のための法整備を求める意見書		原案可決
③	子どものおもちゃへの塩化ビニル使用規制を求める意見書		原案可決
請願・陳情		白抜き数字は陳情番号	
閉会中の継続審査となっていた請願・陳情			
⑰	「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書」提出に関する陳情		継続審査

主な議案の概要

主な議案の概要をお知らせします。
丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号。議案名は、右の一覧表をご覧ください。
議案の決算については、1ページに概要を掲載しています。

⑬ 歳入歳出2億6166万1000円の追加補正を行うもので、予算総額418億3225万円となる。障害福祉、道路、学校関係等に係る費用の増額で、財源は国・県支出金、市債、繰越金。また、寺崎特定土地地区画整理事業関連公共施設整備について債務負担行為を設定するもの。

①7 交通安全条例の施行に伴い設置する交通安全対策協議会の委員報酬を追加するもの。
②6 白井小学校第一棟改築建築主体工事について、2億4832万5000円で京成建設(株)佐倉営業所と請負契約を締結するもの。
③7 鹿島川第二号幹線排水整備工事の委託について、3億3306円で京成電鉄(株)と委託契約を締結するもの。
④8 奥山透氏の任期満了に伴い、後任として、木村正久氏を教育委員会委員として任命するもの。
⑤9 契約額を1億8761万2950万円に変更し、(株)大林組千葉営業所と請負契約を締結するもの。
⑥0 契約額を2億2426万2150円に増額変更するもの。

議員発議

① 立田安之氏の任期満了に伴い、後任として、山下ミツ子氏を人権擁護委員候補者に推薦するもの。

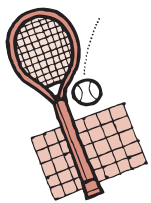
今議会に議員が提出した発議の概要は次のとおりです。すべて原案のとおり可決しました。
丸数字は発議案番号

テロを根絶し、日本が世界平和実現のための取り組みを積極的に進める決議
テロはいかなる理由でも正当化できない犯罪であり、民主主義への挑戦として許すこ

とはできない。日本は第二次大戦後、一度も武力行使をしなかったという歴史的事実を行動原理とし、武力行使によらない難民支援などで貢献すべきである。日本政府が法と理性に基づいて、テロの根絶と世界平和の実現に積極的に取り組むことを決議するもの。

京都議定書の早期批准・発効と抜本的な地球温暖化防止のための法整備を求める意見書
気候変動は予想を超える速度で進行しており、地球規模で温室効果ガス削減の対策を進めることは、将来に対する責務である。2002年の議定書発効に間に合うよう批准の準備を迅速に進め、次期国会で、京都議定書の目標を達成できる政策を担保する法律

子どものおもちゃへの塩化ビニル使用規制を求める意見書
塩ビのおもちゃには、可塑性に環境ホルモンとしても疑われている化学物質が使用されているものがあり、子どもが口に入れたりしているうちに溶出する危険がある。多種多様な化学物質を必要とする塩化ビニルをおもちゃに使用することをやめ、安全性を確保するための規制をするよう求めるもの。



議会百景

去る九月三十日、ベルリンマラソン女子の部で世界新記録を樹立した高橋尚子選手が小出義雄監督とともに帰国翌日、忙しいスケジュールをさいて、佐倉市役所を訪れてくださいました。オリンピック優勝の時と同様に元気な笑顔で次の目標に向かって頑張る意欲をお話され、これからメッセージを残されました。夢に向かって頑張ることの大切さを私たちに教えてくれた小出義雄監督・高橋尚子選手、どうもありがとうございました。(M・K)



佐倉市議会のホームページもご覧ください

佐倉市のホームページからどうぞ！
<http://www.city.sakura.chiba.jp>
オリジナルページ 議会事務局をクリックして下さい。

12月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

初日 12月3日(月) 午後1時から
一般質問 12月10日(月)から13日(木) 午後10時から
最終日 12月21日(金) 午後1時から

日程は変更になることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

議会の模様がお茶の間でもご覧になれます

CABLE NET296
5チャンネルでは、本会議の模様を放送しています。

12月定例会初日の放送予定

12月4日(火) 午後6時から7時
12月11日(火)、12日(水) 一般質問の放送予定
13日(木)、14日(金) 午後6時から10時
最終日の放送予定
12月22日(土) 午後6時から7時